

# 特別講義

場所： 楽水会館1階大ホール  
日時： 11月2日(水) 14時40分～

## 分子進化に適応をみる

岸野洋久博士

東京大学大学院農学生命科学研究科教授  
(本学生物多様性高精度モニタリングプログラム特任教授)

いまでは遺伝子配列やゲノムを比較するのは普通になっていますが、このセミナーではこれに関する話題を提供します。直接目に見えないもの、はかりにくいものが、分子進化の目で眺めると、見えてきます。クジラの系統分類というクラシックな問題、微生物群集の多様性をはかる問題、ミトコンドリアと寿命、ウイルスにかかる多様化圧をはかる問題、適応する突然変異を予測する問題など、ご紹介したいと思っています。適応はコストを伴うことを感じ取られるでしょう。将来、分子進化の目を研ぎすますことにより、こうしたコストも的確に見積もることができるようになると素晴らしい、と思っています。

資源増殖や生態学、保全生物学に興味のある学部生、大学院生の来聴を歓迎します。なお、本講義は、学部の保全増殖学及び大学院後期課程の合同セミナーを兼ねます。

問合せ 0356、kitada@kaiyodai.ac.jp